

試験研究成果普及情報

部門	稲	対象	普及
課題名：ホールクロップサイレージ（WCS）用の飼料イネ有望品種の特性			
<p>[要約] 千葉県では、「なつあおば」（収穫期：8月中旬）、「夢あおば」（8月下旬）、「ホシアオバ」（9月上旬）及び「リーフスター」（10月下旬）がWCS用イネ品種として有望であり、作業体系に適した熟期の品種を選定することができる。「夢あおば」は、出穂後積算気温が500℃を超えると、ダイレクトカットによる収穫が可能である。</p>			
キーワード： 水稻、飼料イネ、ホールクロップサイレージ、「夢あおば」、TDN			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・育種研究所・水稻育種研究室 協力機関 畜産総合研究センター		
実施期間	2009年度～2011年度		

[目的及び背景]

現在、WCS用に作付けされている飼料イネ品種は一般の主食用品種が多い。生産性の向上による生産コストの低減やサイレージ品質の向上のためには、全重収量、サイレージ品質及び栄養成分に優れ、耐倒伏性等の栽培特性が良好で、主食用品種との作業競合が少なく、千葉県の稲作体系に適合したWCS用イネ品種の導入が望まれる。

このため、牛ふん堆肥と化学肥料を施用した多肥条件の場内圃場で、独立行政法人等が育成した多収性品種・系統の栽培特性、収量性を明らかにし、千葉県の稲作体系に適したWCS用イネ品種を選定する。

[成果内容]

- 1 供試した9品種・系統の中で、黄熟期、可消化養分総量（TDN）収量及び耐倒伏性の観点から、「なつあおば」、「夢あおば」、「ホシアオバ」及び「リーフスター」が本県に適している。
- 2 「なつあおば」は、黄熟期が8月20～21日であり、耐倒伏性に優れ、TDN収量は738kg/10aである（表1、図1）。
- 3 「夢あおば」は、黄熟期が8月24～28日であり、耐倒伏性に優れ、TDN収量は774kg/10aである（表1、図1）。出穂後積算気温が500℃を超えると、稲体水分含有率が65%以下となり、ダイレクトカットによる収穫が可能である（図2）。
- 4 「ホシアオバ」は、黄熟期が9月7～8日であり、耐倒伏性に優れ、TDN収量は789kg/10aである（表1、図1）。
- 5 「リーフスター」は、黄熟期が10月4日であり、耐倒伏性に優れ、TDN収量は800kg/10aである（表1、図1）。

[留意事項]

- 1 選定した4品種は、いずれも千葉県で優占していると考えられるいもち病菌レースに対して真性抵抗性をもつ。
- 2 選定した4品種のTDNは54~57%の範囲にあり、一般的な牧草の開花期一番草のTDNに匹敵する。
- 3 「リーフスター」等の晩生品種は、水利条件を考慮して導入する。

[普及対象地域]

県内全域（耕畜連携によるWCS用イネ栽培に取り組む農家）

[行政上の措置]

[普及状況]

WCS用イネ栽培面積 289ha（平成23年度）

[成果の概要]

表1 各品種の生育状況

供試品種	出穂期(月.日)		黄熟期(月.日)		稈長(cm)		倒伏程度	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
なつあおば	7.21	7.20	8.20	8.21	97	96	1.0	0.5
夢あおば	7.27	7.27	8.24	8.28	88	88	1.5	0.0
ホシアオバ	8.7	8.5	9.7	9.8	101	104	0.0	0.0
リーフスター	8.29	8.25	10.4	10.4	92	104	1.0	0.8
ちば28号(対照)	-	7.22	-	8.24	-	83	-	1.8

注1) 水稻育種研究室(香取市、砂壤土)、牛ふん堆肥2t/10aを各年の2月施用

2) 5月7日稚苗移植、栽植密度18.5株/m²、4本植

3) 黄熟期は、黄化籾歩合50%の日とした

4) 倒伏程度は、0(無)から5(甚)の6段階評価

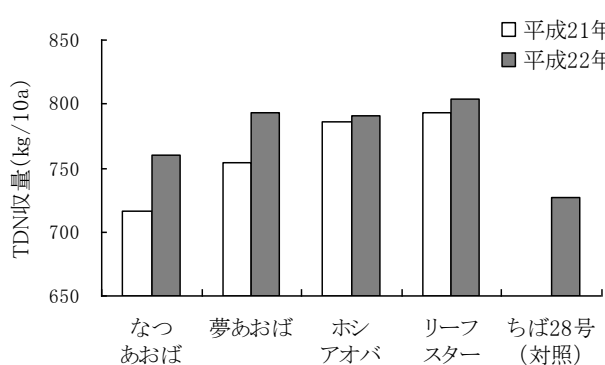


図1 各品種の可消化養分総量(TDN)収量

注1) 水稻育種研究室(香取市、砂壤土)

2) 牛ふん堆肥2t/10aを各年の2月施用

3) 5月7日稚苗移植、栽植密度18.5株/m²、4本植

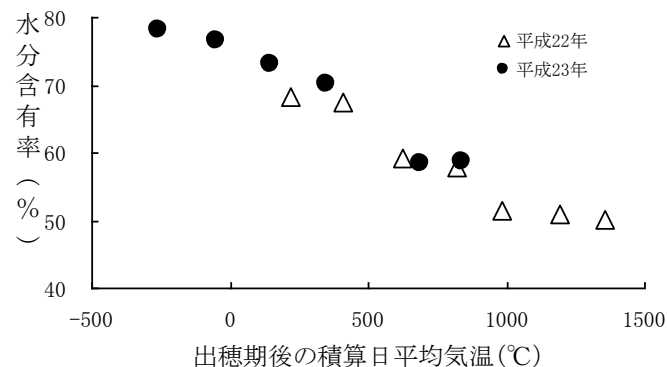


図2 「夢あおば」の出穂前後の水分含有率

注1) 平成22年水稻育種研究室(香取市、砂壤土)

平成23年現地圃場(旭市、壤土)

2) 平成22年5月10日稚苗移植、18.5株/m²、4本植、

平成23年5月14日機械移植、14.6株/m²

[発表及び関連文献]

- 1 平成24年度試験研究成果発表会（作物部門）
- 2 水田における飼料用稲の生産利用技術の確立研究成果集、51 - 59、2011年

[その他]